

CHIKARA KISHIMOTO

第36回

岸本力 Bass バス・リサイタル

ピアノ 村上弦一郎 バンドネオン 北村 聡

ラフマニノフ&チャリアピン生誕150周年記念

Feodor Chaliapin 1873-1938
Sergei Rachmaninoff 1873-1943



2023年9月4日(月) 14:00開演
13:30開場
東京文化会館 小ホール

入場料[全自由席] 一般 4,000円 学生 3,000円

チケット取り扱い [4/8国10:00発売]

●二期会チケットセンター TEL.03-3796-1831

●東京文化会館チケットサービス TEL.03-5685-0650

後援 ●日本・ロシア音楽家協会/二期会ロシア歌曲研究会

二期会ロシア東欧オペラ研究会/公益財団法人東京二期会

マネジメント ●公益財団法人東京二期会 お問い合わせ ●二期会チケットセンター TEL.03-3796-1831

ラフマニノフ作品

聖なる僧院の門のかたわらに

私の心の中に 作品14-10

新しい墓のそばに 作品21-2

リラの花 作品21-5

息がつけるでしょう 作品26-3

私は予言者ではない 作品21-11

ピアノ・ソロ

エチュード 作品33-2

ロシア民謡

船曳き人夫の歌

ラフマニノフ作曲 N.メルグノーヴァ作詞

トロイカ

タベの鐘

バイカル湖のほとり

さようなら、恋人よ

ピョートル街道に沿って

12人の盗賊

果てもなき荒野原 I.スーリコフ作詞

バンドネオン・ソロ

パルティータよ、永遠に

加藤昌則作曲

フョードル・チャリアピン初演によるラフマニノフ作品

私たちの誰の心にも 作品34-2

ラザロの復活 作品34-6

きみは彼を知っていた 作品34-9

小作農奴 作品34-11

S.ラフマニノフから

K.S.スタニスラフスキへの手紙

運命 作品21-1

——ベートーヴェンの第5交響曲によせて

ラフマニノフ & シャリアピン 生誕150周年記念



昨年、デビュー50周年記念リサイタルを無事に開催することができました。皆様に改めて感謝申し上げます。ロシアの政治と文化芸術(音楽)は別であるという思いから、「平和を訴え」演奏させていただきましたが、一年を過ぎてもロシアによるウクライナへの悲惨な軍事侵攻は続いており未だ先が見えません。報道を目にするたび、胸が締め付けられるような思いがします。しかしながら、私はロシアの歌を愛し、歌い続けたいと願っています。

今年はラフマニノフ(1873-1943)とバス歌手シャリアピン(1873-1938)の生誕150周年記念の年にあたります。彼らも当時の政治的理由から祖国を離れ、遠く離れた異国で生涯を終えました。最期まで平和を願い、祖国に帰る日を夢見ていたのではないのでしょうか。今回もピアノに村上弦一郎氏、バンドネオンに北村聡氏を迎え、平和への祈りを込めて演奏させていただきます。どうぞロシアの歌の魅力をお楽しみください。

岸本 力



岸本 力 バス

KISHIMOTO Chikara

東京藝術大学卒業、同大学院修了。1973年、日本フィル「第九」、大阪フィル「森の歌」でデビュー。1976年文化庁派遣芸術家在外研修員としてイタリア、オーストリアに留学。1977年ローマ・サンタ・チェチーリア・アカデミー修了。第41回日本音楽コンクール第1位、第17回海外派遣コンクール特別賞、第5回チャイコフスキー国際コンクールで最優秀歌唱賞。ジュネーブ国際コンクール銀賞。ヴィオッティ国際コンクール銀賞を受賞。

NHK-TV・ラジオなどに出演する他に、《第九》

《森の歌》などのバス・ソロ、1984年「ショスタコーヴィチ歌曲の夕べ」のリサイタルでは第39回文化庁芸術祭で優秀賞受賞。オペラでは《ボリス・ゴドゥノフ》、《夢遊病の女》、《魔笛》、《青いひげ公》、《セヴィリアの理髪師》、《モーツァルトとサリエリ》、《コシ・ファン・トゥッテ》、《フィガロの結婚》、《後宮からの誘拐》、《ドン・カルロ》、《シモン・ボッカネグラ》、《ペレアスとメリザンド》、《ムツェンスク郡のマクベス夫人》、《修道院での結婚》、《シンデレラ》、《修禅寺物語》、《乙女の塔》等、主役級で数多く出演。1992年ショスタコーヴィチ作曲《交響曲第14番》「死者の歌」(秋山和慶指揮/東響)にバス・ソロで出演。1993年にはタン・ドゥン作曲《オーケストラ・シアターⅡ：Re》(岩城宏之指揮/東響)の世界初演に出演し話題を呼んだ。2001年キング・インターナショナルより『つかれた太陽-岸本力・ロシア民謡集』をリリース。2003年、2004年、2006年と日本フィルとの「ロシア民謡コンサート」に出演し成功をおさめた。

ロシア音楽をライフワークとしており、日本屈指のバス歌手であると同時に、未知の歌曲群の紹介やロシア歌曲集の編集など、ロシア音楽の第一人者として活躍を続けている。

2010年12月「永年にわたり、ロシア芸術歌曲や民謡を中心に優れた演奏をし、我が国におけるロシア音楽の普及・振興に多大な貢献をした」として文化庁長官表彰賞受賞。2012年2月、ロシア文化振興への貢献を讃え日本人歌手として初めてのプーシキン・メダル(ロシア文化勲章)を受章。2012年「プーシキン・メダル受章記念リサイタル」を開催。2012年11月茨木市民栄誉賞受賞。2015年よりロシア声楽コンクール主宰。2022年には「第35回 岸本力 バス・リサイタル-デビュー50周年記念」を開催し、大盛況のもと、これまでの活動に称賛を得た。

桐朋学園大学大学院特任教授、武蔵野音楽大学非常勤講師。日本音楽コンクール、静岡国際オペラコンクール、チェコ音楽コンクール、学生音楽コンクール等の各審査員歴任。日本・ロシア音楽家協会副会長。日本演奏連盟会員。二期会会員。二期会ロシア歌曲研究会及び二期会ロシア東欧オペラ研究会代表。



村上弦一郎 ピアノ

MURAKAMI Gen-ichiro

1971年、第40回 NHK毎日音楽コンクール第一位を得、翌年シヨパン協会の主催でデビュー。1973年桐朋学園大学卒業後、ルーマニアのブカレスト音楽院へ留学。各国のコンクールで上位入賞。1978年にはチャイコフスキー

国際コンクールでファイナルディプロマを獲得している。

国内、ヨーロッパ各地で、リサイタルをはじめ、室内楽、各オーケストラとの共演、放送局での録音、と幅広く活動。

2002年9月には、GEN 室内管弦楽団を結成。2004年には渡欧し、ドイツ・ハイデルベルク公演、コンチェルトの夕べで好評を博した。ディヌ・リパッティ国際コンクール(ブカレスト)、日本音楽コンクールを始め数多くのコンクールでの審査員を務める。2000年4月~2001年3月ハイデルベルク大学客員研究員(ドイツ)。2011年8月23日に「村上弦一郎デビュー40周年記念演奏会」(サントリー大ホール)開催。

山口県文化功労賞、岩国市久能賞受賞。

現在、桐朋学園大学特任教授。日本・ロシア音楽家協会副会長。



北村 聡 バンドネオン

KITAMURA Satoshi

関西大学在学中にバンドネオンに合い小松亮太、フリオ・パネに師事し、世界各国のフェスティバルに出演。

2011年、アストル・ピアソラ五重奏団元ピアニスト パブロ・シーグレルのアジアチームに選ばれる。

2014年、東京オペラシティのリサイタルシリーズB→Cに出演。2021年、ピアソラ作曲「シンフォニア・ブエノスアイレス」の日本初演に参加。これまでに鈴木大介、館野泉、波多野睦美、EGO-WRAPPIN'、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団と共演。NHK「青天を衝け」、映画「マスカレード・ナイト」をはじめ様々な録音に参加している。

喜多直毅クアルテット、クアトロシエントスなど数多くの楽団に参加、活動中。



「ヴォルガの舟唄」<https://youtu.be/RBaTKFBe56c>

岸本 力
YouTube

「黒い瞳」<https://youtu.be/9AYpNKa6Z28>

